



## 12/17 愛媛駅伝 56 チームが 町内駆け抜ける

第 68 回愛媛駅伝競走一本松 - 宇和島大会（愛媛陸上競技協会、愛媛新聞社主催）が開催され、愛南町と宇和島市を結ぶ 7 区間、53.8 km のコースを 56 チームが駆け抜けました。

選手は、午前 10 時に一本松を一斉にスタート。雪が降る厳しい状況の下、懸命にたすきをつなぎました。

町内からは、2 部に出場した愛南体協が 3 時間 24 分 44 秒で 16 位でした。

## 12/17 地域で高める防災意識

御荘中学校生徒会と南宇和高校生徒会が企画運営した平城五常会地区学校地域合同防災訓練が行われました。

午後 1 時に地震発生を知らせる放送が各家庭の IP 告知端末機から流れると、参加者は各自で身を守った後、雪が降る中を最寄りの一時避難場所まで避難、その後、平城小学校へ移動して避難所運営体験や炊き出し訓練を行いました。

雪が降る中、訓練に参加した幸崎信正<sup>のぶまさ</sup>さんは「あいにくの天気だが、地震は天気を選ばない。普段からしっかり備えたい」と気を引き締めていました。



雪の中、一時避難場所へ避難する訓練参加者

# あんなことや、 こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.87

「サンゴの住人 その1」



ウミウチワに住むオキゴンベ

愛南サンゴを守る会が今年で結成 5 年目を迎える。それを記念して、今月から数回に分けてサンゴを住処にしている魚たちを紹介したい。

ウミウチワは軟らかい骨格をもつソフトコーラルの仲間である。うちわのような形をしていることからこの名がついた。魚やエビ、カニなど多くの生き物がウミウチワに守られて生活している。

この集団の中で一番の強者がオキゴンベである。英語ではイエロー・ホーク・フィッシュ（黄色い鷹のような魚）と呼ばれている。ウミウチワの頂上に陣取って、縄張りを守っている様子は、まさに鷹のようである。また、性転換をする魚としても知られている。一匹のオスが、数匹のメスを従えてハーレムを作っているが、このオスが肉食魚に捕食されていなくなると、一番大きなメスがオスに変身する。

小さなサンゴの中で不思議な生き物たちの世界が繰り広げられている。サンゴは海の中の小宇宙である。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照<sup>ともてる</sup>

## 12/25 町内で初めて「さくらひめ」出荷

デルフィニウムの新品種「さくらひめ」の出荷が始まりました。

「さくらひめ」は、愛媛県農林水産研究所が育成した花で、青色系が一般的なデルフィニウムでは珍しい淡いピンク色。従来品種よりも花数が多く、さくらの花に似ているのが特徴です。

町内では平成29年から認定農業者の門田<sup>じゆん</sup>淳さん（小山地区）が生産に取り組み、この冬、初めての出荷を迎えました。

「初めてにしては上々の出来」と笑顔を見せる門田さん。「さくらひめ」は6月頃まで道の駅みしょうMICや愛南おっとりっしゃ産直市に出荷される予定です。



「さくらひめ」の花言葉は、「可憐な乙女」「君に微笑む（愛顔）」「希望」。出荷は6月まで続きます

## 12/27 ゴルフを通じて地域に貢献

「一本松オープンチャリティゴルフコンペ」（11月26日 四万十市）で集まった寄付金の贈呈式が福岡内科外科医院（一本松）で行われました。

贈呈式では大会実行委員長の福岡義人<sup>よしと</sup>さんから、ありんこくらぶ、町教育委員会、町内保育所・幼稚園に目録が手渡されました。

ゴルフを通じて地域に貢献したいとの思いで有志が始めた大会は、今年で21回目。福岡委員長は「来年以降も仲間と一緒に続けていきたい」と話しました。



写真左から中村教育長、福岡実行委員長、濱田城辺保育所長、宮崎ありんこくらぶ会長

## 1/9 大きく育て！ 愛南サツキマス

愛南町では、愛南漁業協同組合、同青年漁業者連絡協議会、愛媛大学南予水産研究センター、NPO法人「ハートinハートなんぐん市場」、町が協力して3年前からサツキマスの試験養殖に取り組んでいます。

サツキマスはサケの仲間でアマゴと同種。一生を淡水で過ごすものがアマゴと呼ばれ、海に下るものはサツキマスと呼ばれています。天然下での個体数が極めて少なく、幻の魚ともいわれます。

この日は、山出<sup>やまいだし</sup>地区の養殖場からおよそ8,000尾のアマゴが御荘湾に運ばれました。これから約1週間かけて海水に慣らした後、沖で3か月間養殖して春先の出荷を目指します。

まだ試験養殖ですが、町の新しい養殖魚として「幻の魚」への期待が高まっています。



アマゴを山出の養殖場から御荘湾に移す作業を行う関係者



## 1/12 町内で積雪。 子どもたちは大喜び

強い寒波の影響で町内でも至る所で積雪が見られました。

一本松小学校では、久しぶりに積った雪に子どもたちが大喜び。昼休みの時間を利用して、雪だるまを作ったり雪合戦をしたり、一面雪に覆われた運動場で元気よく遊びました。



## 1/15 インドネシアの実習生が清掃活動

漁船漁業に関する知識や技術を習得して母国の産業発展に役立てようと、今年も17人の青年がインドネシアから愛南町にやってきて学んでいます。

この日は、受け入れ先の愛南漁協の職員20人と共に地域の清掃活動に汗を流しました。

実習生は2月末まで日本語や漁船漁業の基礎を学び、その後、各水産事業所に分かれて洋上実習を行います。

ドティ・プラセティヨさん(18歳)は「今日はとても良い経験になった。これからも勉強や実習を頑張りたい」と意欲を見せました。



地域の清掃活動を行うインドネシアの実習生

## 1/21 中浦小学校で最後のマラソン大会

今年3月で閉校する中浦小学校で最後となるマラソン大会が行われました。全校児童9人は、午前10時30分に運動場を一斉にスタート。大会を盛り上げようと参加したインドネシアの漁業実習生17人や小学校OBらもそれに続き、児童らと共に尻貝地区を駆け抜けました。

運動場から声援を送った安田美穂子さんと岡下良子さんは「ここ数年は実習生が加わって賑やかなマラソン大会ができていた。毎年、応援にきていたので無くなると寂しい」と話しました。



運動場を一斉にスタートする中浦小学校の児童